

合資会社 小林醤油店

テーマ

地元新潟産小麦を原料とし、消費者が原料生産者を知ることが出来る醤油の開発

目的

地元の農業生産者と連携し、地元で栽培した小麦を使用した、現在は市場にない新潟素材100%の醤油の開発を行う。さらに、その醤油の原料（小麦・大豆）をどこの誰が作ったのかを消費者が商品購入時に分かるような、原料生産者と消費者をつなげる醤油を開発する。



事業の内容

■事業取組みの経緯

全国には醤油メーカーが多数存在し、それぞれの地域性にあった醤油造りが行われている。特に、全国それぞれ地方で生産された小麦及び大豆を使用した醤油というのは、その地域の食文化であり、誇り守るべき調味料である。しかし、新潟県の気候が醤油の原料である小麦栽培には向かないという理由から、新潟県には新潟産の小麦・大豆から作られた醤油が市場には存在しない。

だが近年、雪に強い小麦品種「ユキチカラ」が開発され、新潟県でもある程度の収穫高が見込まれるようになってきた。そこで、地元農家と連携して小麦を栽培してもらい、その原料を使用し、当社の醤油の完全自社仕込みという強みを活かし、新潟県産の小麦及び大豆を使用した、まだ市場にはない他社との差別化された商品、「新潟県産小麦を使用した醤油」を開発することとした。

さらに、昨今では消費者の原材料に対する意識は高まっており、「原料はどこで作られたか」という情報以上に「原料は

どこの誰によって作られたか」ということも求められてきている。そこで最終消費者への原料生産者情報提供を目指す。

■実施内容

「新潟県産小麦を使用した醤油」を開発すること。その商品パッケージに「醤油の原料はどこの誰によって作られたか」までをラベル表示すること。この2観点から次の機械装置らを導入した。醤油開発にあたり、焙煎することで小麦のデンプンがα化され、醤油の仕込み可能な性質へと変化するために活用する機械装置（麦煎機）を導入。原料生産者情報を伝えるために、醤油のボトルヘラベルをきれいに巻くことが出来る機械装置（ラベラー）を導入した。

小麦・丸大豆ともに、それぞれ村上市の単一の生産者から原料として直接調達。導入機械を使用し、醤油仕込みを行った。醤油ボトルのラベルに原料生産者情報を反映させ、消費者がより安心・安全を感じることが出来る醤油の開発を行うことが出来た。

事業の成果

■事業取組みの成果

小麦、大豆共に単一生産者から調達することができたため、醤油にした際に、原料は誰が作ったのかまで、消費者に明確に伝えることが可能となった。試作品の仕込みは大きな問題もなく終了し、醤油仕込み用としての最適な醤油麹を作れることを確認できた。消費者や市場が求める安心・安全への要求を満たす、現在市場にはない当社だけの醤油を生産する体制を整えることが出来た。

①原料の差別化および優位性：現在市場には存在しない醤油商品「新潟県産小麦を使用した醤油」の確立。

②消費者へ、醤油の原料までの生産者の情報を伝える安心・安全な醤油の提供：大手メーカーでは、仕込み規模が大きいため、単一の生産者のみから小麦や大豆を仕入れることは難しいが、当社では小規模で仕込むことが可

能であるため、単一の生産者が生産した原料のみから醤油を作ることが出来る。この優位点を製品である醤油のラベルに表示することにより、消費者に対しても安心、安全をPRすることが可能。

③地元の飲食店等とのつながりの強化：村上市では市役所が中心となり「村上市地産地消推進協議会」を発足させて地産地消に取り組んでいる。これまでにない調味料の分野での地産地消をPRすることで、さらなる販路の拡大が期待出来る。



にいがた経済新聞の目



展示会を活用し市外の販路を開拓

会社概要の欄には昭和46年の設立とあるが、当社の初代が荒川町（現：村上市）で、味噌、醤油醸造を始めたのが昭和10年。以来、地域に根を下ろし醤油や味噌などを販売してきた。そんな中で新商品として販売を始めたのが、新潟県産小麦を使った醤油。県産小麦を使った醤油を製造販売するのは、県内では2社だけという。

同社では、このほかにも、小林徹平氏がUターン入社した2011年以降、特徴のある新商品を相次いで市場投入している。鮭節をダシに使った醤油『鮭むらさき』や、めんつゆ『鮭つゆ』だ。いずれも鮭の町・村上市を意識して開発した。また和風タバスコ『醸すこ（かもすこ）』なども商品化し、2011年時には「調味料としては味噌、醤油しかなかった」（小林氏）という商品ラインアップは大幅に拡充された。「新商品の開発はひと段落で、次のテーマは販路の拡充」（同）。具体的には、これまで地元・村上市が主要販売エリアだったが、人口が減少していることなどから、市外の販路開拓に注力。このため、毎年11月に開催されているフードメッセinにいがたや首都圏で開催される展示会などに出席していく計画だ。



小林 徹平 氏

■事業者の概要

事業者名 合資会社 小林醤油店

所在地 〒959-3122 新潟県村上市大津543-1

代表者名 代表社員 小林 秀平

電話番号 0254-62-2088

F A X 0254-62-2288

設立年月 昭和46年2月

資本金額 1,000万円

従業員数 5人

業 種 食料品製造業

U R L <http://www.kobayashi-shoyu.co.jp/>

E-mail info@kobayashi-shoyu.co.jp

